

# 海外における竜巻スケールの 改善の動向について

気象庁

- 本検討会で共有すべき関連情報を取り上げる。
- 今回は、海外における竜巻の強さのスケールの改善の動向として

**ASCE tornado wind speed estimation  
standards committee**

の取り組みを取り上げる。

# 概要

- **ASCEとは**

- American Society of Civil Engineers
- 「アメリカ土木学会」と訳されるが、土木・建築の両方の分野を対象とする学会

- **Codes and Standards Committee (CSC)とは**

- 米国国家規格協会(ANSI)認定のもと、土木・建築技術の基準・規格を策定するASCEの委員会\*

- **ASCE tornado wind speed estimation standards committee**

- 竜巻の風速を評価する手法についての規格を策定するための委員会でCSCのひとつ
- 2014年から活動開始
- 以下、「竜巻委員会」と言う。

# 竜巻委員会の構成

- 委員長 James LaDue (NWS)
- 小委員会
  - EFスケール改良小委員会
  - レーダー小委員会
  - 倒木パターン小委員会
  - In-Situ観測小委員会
  - リモートセンシング小委員会
  - 工学的検証小委員会
  - データアーカイブ小委員会
- 国際ワーキンググループ

# 風速評価手法の規格策定をASCEで行う ねらい

- 公的基準・規格を策定するための責任体制が整っている
- 事務支援サービスが充実
- パブリックコメントを集約する機能

# 竜巻委員会の工程

- 2017年夏まで
  - 委員会案を提案
- 2018年冬
  - 規格のドラフト完成
- 2018年
  - パブリックコメント(2回)
- 2019年春
  - 規格完成・ANSI認定・公開

# EFスケール改善小委員会

- 以下の活動のためのワーキンググループが設置されている
  - 評定を容易にするための写真例とガイダンスの作成
  - 新規DI,新規DODの追加
  - 既存DI・DODの風速の更新
  - 樹木DIの更新